



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ワキタ

コード番号 8125 URL <http://www.wakita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 脇田貞二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 重松 巖

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6449-1901

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	11,504	14.2	1,599	45.7	1,623	45.4	870	87.0
24年2月期第1四半期	10,078	1.2	1,097	16.6	1,116	13.7	465	△16.8

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 670百万円 (78.8%) 24年2月期第1四半期 374百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	19.49	—
24年2月期第1四半期	11.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	86,387	66,671	77.2
24年2月期	83,952	63,696	75.9

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 66,671百万円 24年2月期 63,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	19.00	19.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	7.1	2,350	14.7	2,400	13.4	1,300	35.7	28.09
通期	44,500	5.3	4,800	9.6	4,900	7.8	2,700	16.7	58.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	47,841,297 株	24年2月期	47,841,297 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	1,564,888 株	24年2月期	7,310,959 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	44,653,475 株	24年2月期1Q	40,542,021 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年3月1日～平成24年5月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災に伴う復旧・復興需要が牽引するなか、徐々に上向きははじめましたが、電力不足懸念、円高の定着や欧州における財政危機、そして中国をはじめとする新興国での成長減速の顕在化等により、依然先行き不透明な情勢が続きました。

こうした状況のもと、当社グループの主力事業である建機事業は、被災地における復旧・復興工事や首都圏を中心とする大都市での防災・耐震のための地盤改良工事等により、賃貸部門は増収となりました。また、販売部門におきましても発電機や建機周辺機器の販売に注力したことにより、前年同期を上回ることができ、その結果として建機事業全体の売上高は8億94百万円増加（前年同期比14.2%増）の71億88百万円となりました。商事事業におきましては、遊戯関係を主に各部門とも伸長した結果、商事事業全体の売上高は4億6百万円増加（前年同期比14.0%増）の33億1百万円となりました。一方、不動産事業におきましては、販売部門は戸建分譲が減少しましたが、賃貸部門は前年に買増しを行った賃貸不動産の収入が寄与するなど順調に増加し、不動産事業全体の売上高は前年同期比1億26百万円増加（前年同期比14.2%増）の10億15百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は115億4百万円（前年同期比14.2%増）となりました。利益面につきましては、各事業が伸長し売上高全体が増加した結果、売上総利益は30億30百万円（前年同期比17.6%増）となりました。また、販売費及び一般管理費を48百万円減少させることができましたので、営業利益は15億99百万円（前年同期比45.7%増）、経常利益は16億23百万円（前年同期比45.4%増）を計上することができました。そして、前年同期は災害による損失等を主因として特別損失を2億43百万円計上することを余議なくされましたが、今期の特別損失は74百万円にとどまった結果、四半期純利益は8億70百万円（前年同期比87.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は863億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億35百万円増加しました。これは、主に「現金及び預金」が13億5百万円増加したことによるものです。

負債合計は197億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億40百万円減少しました。これは、主に「支払手形及び買掛金」が6億12百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、自己株式の処分による株主資本の増加などにより666億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億75百万円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は77.2%、1株当たり純資産額は1,440円73銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月6日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,965	15,271
受取手形及び売掛金	16,184	16,065
有価証券	—	600
商品	2,109	2,032
貯蔵品	40	31
その他	560	605
貸倒引当金	△460	△499
流動資産合計	32,400	34,107
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	4,000	4,274
賃貸不動産(純額)	33,817	33,666
土地	4,332	4,332
その他(純額)	3,580	3,492
有形固定資産合計	45,731	45,765
無形固定資産	485	464
投資その他の資産		
投資有価証券	4,304	4,899
その他	1,336	1,409
貸倒引当金	△305	△258
投資その他の資産合計	5,335	6,050
固定資産合計	51,552	52,280
資産合計	83,952	86,387
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,135	7,523
未払法人税等	1,141	757
賞与引当金	159	323
その他	3,183	3,328
流動負債合計	12,620	11,932
固定負債		
退職給付引当金	56	51
役員退職慰労引当金	890	900
その他	6,689	6,831
固定負債合計	7,635	7,783
負債合計	20,256	19,715

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,208	12,208
資本剰余金	13,717	14,340
利益剰余金	42,729	42,830
自己株式	△2,988	△535
株主資本合計	65,668	68,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	△169
土地再評価差額金	△2,003	△2,003
その他の包括利益累計額合計	△1,972	△2,172
純資産合計	63,696	66,671
負債純資産合計	83,952	86,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	10,078	11,504
売上原価	7,466	8,439
割賦販売未実現利益繰入額	130	140
割賦販売未実現利益戻入額	96	105
売上総利益	2,577	3,030
販売費及び一般管理費	1,479	1,430
営業利益	1,097	1,599
営業外収益		
受取利息	22	21
受取配当金	4	4
その他	23	25
営業外収益合計	51	51
営業外費用		
支払利息	15	19
その他	17	8
営業外費用合計	32	28
経常利益	1,116	1,623
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	1	—
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	—	72
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	45	—
災害による損失	196	—
特別損失合計	243	74
税金等調整前四半期純利益	873	1,550
法人税、住民税及び事業税	421	734
法人税等調整額	△13	△54
法人税等合計	408	680
少数株主損益調整前四半期純利益	465	870
四半期純利益	465	870

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	465	870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	△200
その他の包括利益合計	△90	△200
四半期包括利益	374	670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374	670

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	6,294	2,895	888	10,078	—	10,078
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11	—	11	△11	—
計	6,294	2,906	888	10,090	△11	10,078
セグメント利益	645	102	349	1,097	—	1,097

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高は市場価格に基づいております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	7,188	3,301	1,015	11,504	—	11,504
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10	10	—	21	△21	—
計	7,199	3,311	1,015	11,526	△21	11,504
セグメント利益	985	200	413	1,600	△0	1,599

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高は市場価格に基づいております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間において、自己株式の処分により、資本剰余金が6億23百万円増加、自己株式が24億54百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金が143億40百万円、自己株式が5億35百万円となっております。